

## 東京交響楽団 オープニングコンサート

Tokyo Symphony Orchestra Opening Concert

音楽監督ラスト・シーズン! ノットの“言葉のない指環”

7/26

【プレトーク】

14:20~14:40

話=ジョナサン・ノット

※本公演と同じお席でお楽しみください。

【開演】15:00

【終演予定】17:00

出演

指揮：ジョナサン・ノット (東京交響楽団 音楽監督)

Jonathan Nott (Tokyo Symphony Orchestra Music Director), *Conductor*

コンサートマスター：グレブ・ニキティン

Gleb Nikitin, *Concertmaster*

曲目

ワーグナー：歌劇『ローエングリン』から第1幕への前奏曲 [10分]

Wagner: Prelude to Act I from Opera "Lohengrin"

ベートーヴェン：交響曲第8番 へ長調 op. 93 [25分]

Beethoven: Symphony No. 8 in F major, op. 93

第1楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ・エ・コン・プリオ

第2楽章 アレグレット・スケルツァンド

第3楽章 テンポ・ディ・メヌエット

第4楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

— 休憩 [20分] —

ワーグナー (マゼール編)：

言葉のない『指環』(『ニーベルングの指環』管弦楽曲集)

[65分]

Wagner (arr. L. Maazel): The Ring Without Words

楽劇『ラインの黄金』から

序奏、ワルハラ城への神々の入場、地の底で

鉄を鍛える小人たち、雷神ドンナーの槌

楽劇『ワルキューレ』から

ジークムントの愛の眼差し、ジークムントと

ジークリンデの逃避行、ヴォータンの怒り、

ワルキューレの騎行、ヴォータンと娘ブリュン

ヒルデとの別れ、魔の炎の音楽

楽劇『ジークフリート』から

ミーメの怖れ、魔剣を鍛えるジークフリート、

森のささやき、竜退治、竜の嘆き

楽劇『神々の黄昏』から

夜明け、ジークフリートのラインへの旅、

ハーゲンの招集、ジークフリートとラインの

乙女たち、ジークフリートの葬送行進曲、

ブリュンヒルデの自己犠牲

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、  
ご協力をお願いいたします。開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する  
電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまい  
ください。時計のアラーム・時報などは設定の解除を  
お願いいたします。ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが  
正しく装着されていることをご確認ください。演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の  
公演です。ご自分の席でお聴きください。許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断り  
いたします(カーテンコール時を除く)。演奏中に音が出ないように十分ご注意ください  
(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際  
の音・プログラムをめくる音など)。

演奏中の会話はお控えください。

演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を  
十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援  
をお送りください。

客席内での飲食はご遠慮ください。

館内では咳エチケット・適切な手指消毒を  
推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

Colors, Future!  
いろいろって、未来。

川崎市



音楽のまちかわさき



文化庁

# ワーグナーの壮大な神話世界への旅

## ジョナサン・ノット音楽監督と東響が誘う

### 天使たちが聖杯の守護を託す精妙な前奏曲

#### ワーグナー：歌劇『ローエングリン』から第1幕への前奏曲

リヒャルト・ワーグナー（1813～1883）の『ローエングリン』は、中世の聖杯騎士の伝説にもとづくオペラ。物語の舞台は10世紀初めのアントウェルペン。ブラバント公国の公女エルザは、世継ぎの弟殺しの嫌疑をかけられる。聖杯の騎士ローエングリンは自らの素性を隠して現れ、エルザを救う。ふたりは結婚するが、エルザは禁を破って騎士の素性を尋ねてしまい、ローエングリンは聖杯城へと去る。

第1幕への前奏曲はしばしば単独でも演奏される。精妙なヴァイオリンが、天から降りてきた天使たちによって聖杯が運ばれる様子を表す。聖杯が輝かしい光を放ち、人々が歓喜する。天使たちは聖杯の守護を託し、天へと帰る。

### 軽快にして機敏。ベートーヴェンの「第八」

#### ベートーヴェン：交響曲第8番

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）の最後から2番目の交響曲となったのが、1812年に書きあげられた交響曲第8番。楽器編成も曲の長さもコンパクトで、作品の性格は軽妙で機敏、そしてユーモラス。もっとも、1814年の初演では倍管編成による特大オーケストラで演奏されたと伝えられるから、当時のオーケストラの運用は意外とフレキシブルだ。

#### 第1楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ・エ・コン・ブリオ

序奏なしで冒頭から晴れやかな主題が登場する。リズムの妙に焦点を当てながら、推進力あふれる楽想を展開する。

#### 第2楽章 アレグレット・スケルツァンド

時計風に木管楽器がリズムを刻む。

#### 第3楽章 テンポ・ディ・メヌエット

優雅な舞曲メヌエットというよりは田舎風のダンス。この楽章も機械的な運動を連想させる。

#### 第4楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

小刻みに飛び跳ねるようなリズムカルな主題で開始される。意表を突いた強弱の変化が楽しい。最後は「ふふ」と笑みが漏れるような幕切れ。

### 『ニーベルングの指環』ハイライトをオーケストラのみで

#### ワーグナー（マゼール編）：言葉のない『指環』

（『ニーベルングの指環』管弦楽曲集）

オペラを歌劇場だけの音楽に留めるのは、あまりにもったいない。そこで、序曲や間奏曲、有名なアリアなどを抜き出して、コンサートで演奏することがよく行われる。しかし、ワーグナーの楽劇は音楽に切れ目がほとんどなく、このような抜粋には適していない。それでもワーグナーをコンサートでとりあげたい、それも最大の作品である4部作『ニーベルングの指環』を演奏できないものか。

そんな願いから生まれたのが、名指揮者ロリン・マゼール（1930～2014）の

編曲による「言葉のない『指環』」。1987年にマゼール指揮ベルリン・フィルにより初演され、その録音は大きな反響を呼んだ。以来、この編曲は『ニーベルングの指環』管弦楽ハイライト集として、広く受け入れられている。マゼールが編曲にあたって掲げたポリシーは4つ。全体が物語の筋に沿って切れ目なく続くこと。曲のつなぎ目が不自然にならないこと。原曲の音楽のない部分はそのほとんどを使用し、歌のある部分の使用は必要不可欠な部分に留めること。すべての音符はワーグナー自身が書いたものに限ること。

原曲の『ニーベルングの指環』は『ラインの黄金』『ワルキューレ』『ジークフリート』『神々の黄昏』の4つの楽劇から構成される。中世の英雄叙事詩「ニーベルングの歌」や北欧神話を題材に、権力の象徴である黄金の指環を巡って、神々や小人族、巨人族が争いをくりひろげ、やがて神代の終焉が訪れるまでが描かれる。

「言葉のない『指環』」では、おもに以下の場面がとりあげられる。

『ラインの黄金』から：序奏、ワルハラ城への神々の入場、地の底で鉄を鍛える小人たち、雷神ドンナーの槌。

『ワルキューレ』から：ジークムントの愛の眼差し、ジークムントとジークリンデの逃避行、ヴォータンの怒り、ワルキューレの騎行、ヴォータンと娘ブリュンヒルデとの別れ、魔の炎の音楽。

『ジークフリート』から：ミーメの怖れ、魔剣を鍛えるジークフリート、森のささやき、竜退治、竜の嘆き。

『神々の黄昏』から：夜明け、ジークフリートのラインへの旅、ハーゲンの招集、ジークフリートとラインの乙女たち、ジークフリートの葬送行進曲、ブリュンヒルデの自己犠牲。

## ジョナサン・ノットからのメッセージ

### ベートーヴェンとワーグナーを語る

ワーグナーとベートーヴェンは、知性と心とを併せもつ素晴らしい音楽です。ベートーヴェン自身は交響曲第8番を第7番よりも良い作品だと考えていましたが、私もまったく同感です。ウィットに富む作品で、私にとっては驚くほどに興味を惹かれる作品なのです。

私はこれまで『ニーベルングの指環』の全作を3度指揮してきましたが、このオーケストラ・ヴァージョンは実によくできています。ロリン・マゼールの編曲は、非常に賢明なやりかたで素材を結びつけており、原曲の順にオペラ全体のストーリーを辿っていくことができます。

ベートーヴェンの音楽もそうですが、ワーグナーのオペラのなかでも『指環』は殊に人間的な作品です。巨人やこびとは出てきますが、物語のすべては私たちの誰にでも起こり得ることです。富への強い欲求、権力の渴望、愛への狂おしい憧れ、カップルどうしの喧嘩、結婚とは、長きにわたる関係とはなにか……。あらゆる情景が私たちの日々につだって起こりそうな普遍性をもっています。

マゼールの編曲版ではもちろん、小さなエピソードから大きなオペラ全体を再創造することになりますので、いくらか舞曲の組曲にも近いところがあるでしょう。そして、ベートーヴェンの交響曲第8番の愛すべきところは、全体がエピソードの連なりで構成されていること。その意味で、これはドイツの作曲家による“組曲の午後”と言ってもよいコンサートです。

そして、『ローエングリン』の前奏曲は際立って美しい音楽ですから、いつかは採り上げたいと思ってきました。私は東京交響楽団との今シーズン全体を再訪の機会と捉えていますし、それはまた様々なものごとをひとつに結ぶための時間なのです。

（取材・文：青澤隆明）



©K.Nakamura

## ■出演者プロフィール



©K.Miura

指揮：ジョナサン・ノット Jonathan Nott, Conductor

東京交響楽団第3代音楽監督。イギリス生まれ。フランクフルトとヴィースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、EIC音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマン管音楽監督も務めている。抜群のプログラミングセンスと古典から現代曲まで幅広いレパートリーで、世界の主要オーケストラ・音楽祭に客演。2010年バンベルク響とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功労勲章を授与。東響とともに2020年「ミュージック・ペンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)」を、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」、毎日クラシックナビ「公演ベスト10」において、R.シュトラウス・コンサートオペラシリーズ『サロメ』、『エレクトラ』をベストコンサートに導く。レコーディング活動でも多彩な才能を発揮し、ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、東響とはオクタヴィアレコードより多くのCDをリリースしている。

## ■オーケストラ・プロフィール

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra



Jonathan Nott, Music Director

- 【創設】 1946年創立。2004年より川崎市のフランチャイズ・オーケストラ。
- 【指揮者】 ジョナサン・ノット(音楽監督)、  
秋山和慶(故人)、ユベール・スターン(以上、桂冠指揮者)、  
原田慶太楼(正指揮者)、大友直人(名誉客演指揮者)、  
アルヴィド・ヤンソンス、上田 仁、遠山信二(以上、永久名誉指揮者・故人)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 ミューザ川崎シンフォニーホール、サントリーホール
- 【楽団ウェブサイト】 <https://tokyosymphony.jp>

### サマーミュージック特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージック
  - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> ➔



### アンケート ご協力をお願いいたします。

- ほぼ日刊サマーミュージックに感想が載るかも?  
<https://gws-net.com/summermuza2025/> ➔



### 浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。  
開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

### ミュージック川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

<p>【特別賛助会員】</p> <p>法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川崎幸病院</li> <li>川崎信用金庫</li> <li>キヤノン株式会社</li> <li>サントリーホールディングス株式会社</li> <li>ジェプト株式会社</li> <li>三井不動産グループ</li> </ul>	<p>【賛助会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>税理士法人あおぞら会計</li> <li>株式会社イープラス</li> <li>ENEOS株式会社</li> <li>有限会社エムシーエス・デザインズ</li> <li>神奈川臨海鉄道株式会社</li> <li>川崎アゼリア株式会社</li> <li>公益社団法人川崎市医師会</li> <li>川崎市信用保証協会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公益社団法人川崎市病院協会</li> <li>一般社団法人川崎市薬剤師会</li> <li>川崎鶴見臨港バス株式会社</li> <li>川崎日航ホテル</li> <li>かわさきファーズ株式会社</li> <li>川崎臨港倉庫埠頭株式会社</li> <li>ケイジーケイ株式会社</li> <li>公益財団法人JFE21世紀財団</li> <li>株式会社シグマコミュニケーションズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セレサ川崎農業協同組合</li> <li>大本山川崎大師平間寺</li> <li>高橋昌也税理士・FP事務所</li> <li>株式会社デイ・シイ</li> <li>東亜石油株式会社</li> <li>株式会社東芝</li> <li>日本冶金工業株式会社 川崎製造所</li> <li>ぴあ株式会社</li> <li>ホテルメトロポリタン 川崎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマハサウンドシステム株式会社</li> <li>株式会社ワイイーソリューションズ</li> <li>* 大宮町町内会</li> <li>他3法人</li> </ul> <p>【わくわくミュージック法人サポーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稲毛神社</li> <li>おつけもの慶</li> </ul>
---	---	---	--	---

<p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>阿部孝夫</li> <li>新井智彦</li> <li>市橋信一郎</li> <li>井上敏昭</li> <li>宇佐美清一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠藤智和</li> <li>大越麻美子</li> <li>大須賀徳也</li> <li>大塚具幸</li> <li>岡垣克則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小笠原 将</li> <li>岡田 元</li> <li>岡野 功</li> <li>小倉ヒロ・ミハエル</li> <li>小野洋彰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金山直樹</li> <li>喜多紘一</li> <li>木伏源太</li> <li>久住映子</li> <li>小菅みつほ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国府保周</li> <li>後藤 実</li> <li>小林知子</li> <li>佐伯 昇</li> <li>佐藤晴茂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐藤義寛</li> <li>新保和浩</li> <li>杉山弘子</li> <li>鈴木甚郎</li> <li>鈴木 徹</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高井延幸</li> <li>高橋美子</li> <li>竹内啓介</li> <li>都築 豊</li> <li>中村紀美子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西 洋子</li> <li>西山英昭</li> <li>長谷川喜代江</li> <li>林 直人</li> <li>廣瀬治昇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤嶋とみ子</li> <li>堀江智巳</li> <li>前田 泉</li> <li>松嶋邦生</li> <li>山内利夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山下啓史</li> <li>山田昌克</li> <li>D.Y</li> <li>K.O</li> <li>M.C</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>N.A</li> <li>T.Y</li> <li>他匿名16名</li> <li>敬称略五十音順</li> </ul>
--	--	--	---	--	--	---	--	---	---	---

ミュージック川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。